

王寺町中央公民館建替事業

建設計画書 (案)

平成24年11月

目 次

序. はじめに	1
序-1. 計画の目的	1
1. 現状把握	2
1-1. 既存施設の現状整理	2
(1) 利用状況	3
(2) 目視調査結果	10
(3) 周辺の公共施設立地状況	14
(4) 現状のまとめ	20
1-2. 法規制の整理	22
1-3. 類似事例等の整理	23
2. 基本計画の検討	24
2-1. 整備方針	24
2-2. 施設構成	25
(1) 機能及び規模想定	25
(2) 施設配置イメージ	26
(3) 基本計画図	27

のみP.7°

序. はじめに

序-1. 計画の目的

本計画は、地域のコミュニティーの拠点、緊急時避難場所としての役割を担いながら、未耐震かつ建物・設備の老朽化が進行し、早急な建替えが求められている中央公民館本館及び分館について、利用者のニーズや今後必要となるハード面での機能、規模などの検討を行い、地域の拠点施設としての新たなあり方を踏まえた整備方針を定めるとともに、建替え中の周辺施設との連携を含む、事業完了までの基本計画を策定することを目的とする。

【計画対象となる既存施設】

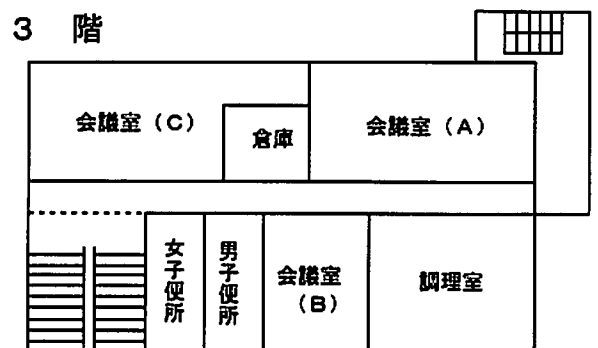
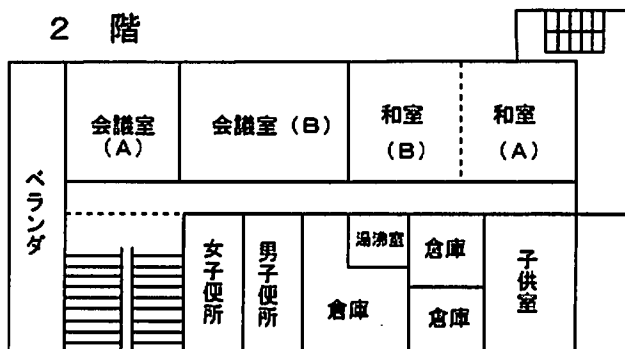
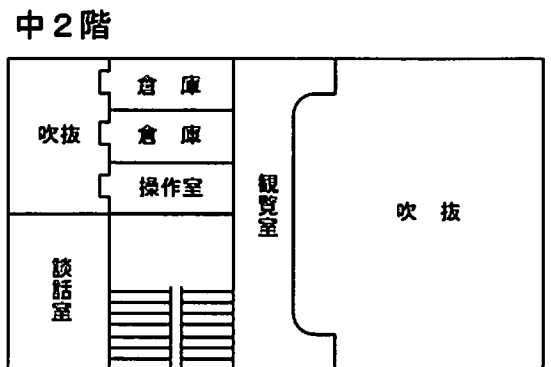
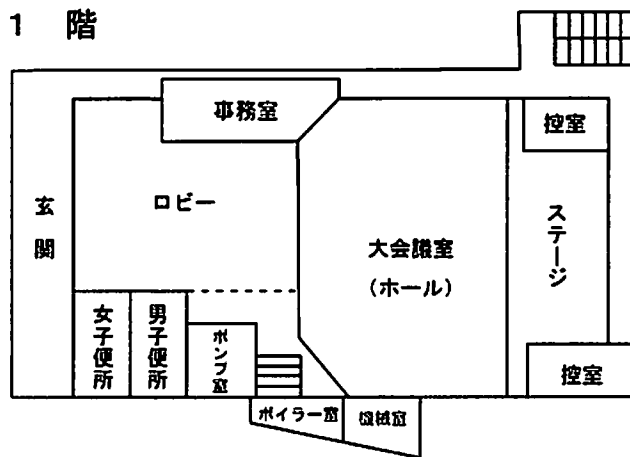
	王寺町中央公民館 本館	王寺町中央公民館 分館
所在地	王寺町久度 2 丁目 17-21	王寺町久度 2 丁目 17-17
敷地面積	698 m ²	597 m ²
延床面積	1,503 m ²	369 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造・3.5 階	木造・2 階
建築年	昭和 49 年	昭和 23 年
避難所の指定	有	無



1. 現状把握

1-1. 既存施設の現状整理

施設内の各諸室の配置状況は以下のとおりである。



2-2. 施設構成

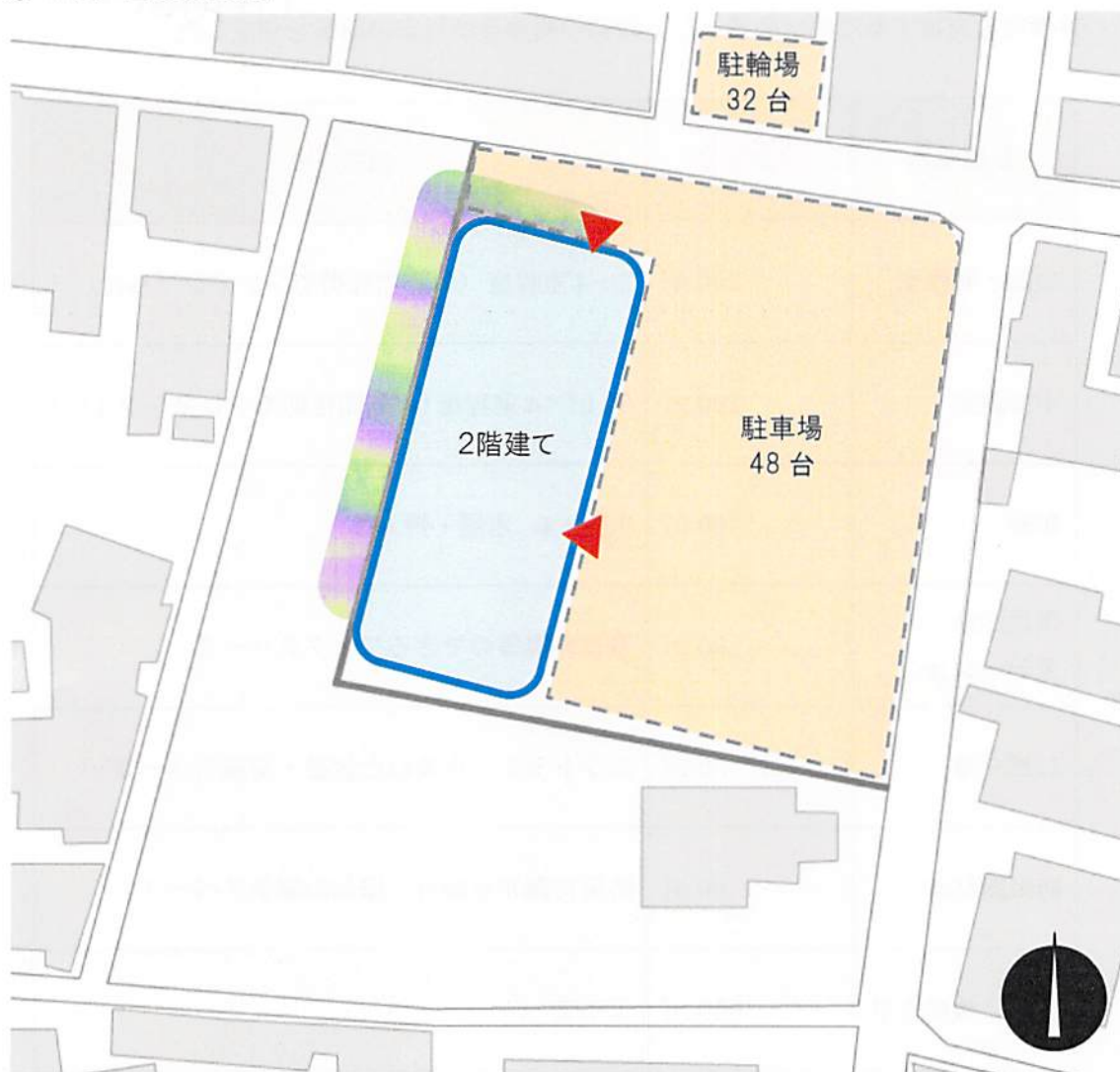
(1)機能及び規模想定

各機能を充足するために必要となる諸室の概要及び目安の面積を想定した。

必要室名	目安面積	諸室概要
会議・研修室	250 m ²	3~4室程度（可動間仕切でフレキシブルに）
小会議室	120 m ²	30 m ² ×4室程度（可動間仕切でフレキシブルに）
和室	60 m ²	8畳×4、水屋・押入等
市民活動 ステーション	30 m ²	事務作業等のできるワークスペース
ロビー等	50 m ²	エントランスを兼ねた休憩・交流スペース
防災器材庫	80 m ²	防災に関する器材・備品の収納スペース
機能合計	650 m ²	①+②
共用部	350~550 m ²	トイレ、多目的トイレ、消防団員用トイレ、 給湯室、廊下、機械室、倉庫等 (2階建ての場合：E V、階段、2階WC含む)
延床面積	1,000~1,200 m ²	平均 1,100 m ² 程度 (平屋建ての場合：1,000 m ² 程度) (2階建ての場合：1,200 m ² 程度)

(2)施設配置イメージ

① I型 2階建て案



断面構成イメージ①

■メリット

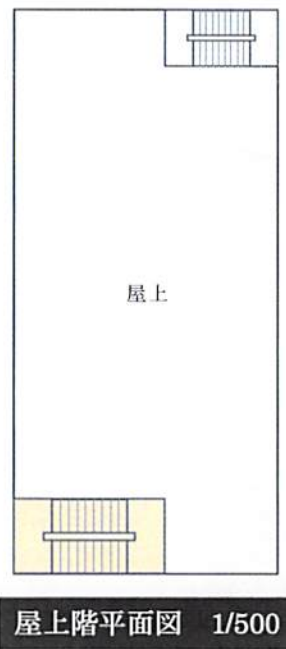
- ・ 建築範囲が平面的にコンパクト。駐車場が広く、台数を確保できる。
- ・ ほとんどの居室に東側からの採光が確保できるので、部屋が明るい。

■デメリット

- ・ 縦動線や各階トイレ確保のため、平屋建てより延床面積が増える。
- ・ 2階へは縦移動を伴うため、平屋建てより動線が長くなる。

(3)基本計画図

① I型 2階建て案



建物 1F. FHは?

(1). 大塚川. HWL. 37.000.127. 欠陥(P)の浮床高との差を以てし。

1Fの水没の危険あり。